「子どもが輝く幸せな子育て」
育 児 体 験 講 演 会

育児は、母親一人では負担が大きすぎる。
何もかも背負い込んで苦しくなってるお母さん、
『助けて』と手をあげて！

●講　師　　若松　亜紀　氏

《プロフィール》☆西木村（現仙北市西木町）出身
☆１９６８年生まれ（37 歳）
☆秋田大学卒業後、秋田市内の幼稚園で７年間勤務。退職後の 05 年６月から、親子が弁当持参で集まり、母親たちの情報交換の場として気軽に立ち寄れる空間を目指し、開設した「陽だまりサロン」を運営している。（毎週木曜日、金曜日午前 10 時～午後 2 時まで）
☆夫、長女（7）、長男（5）の４人暮らし
《 主 な 著 書 》☆「心で感じる幸せな子育て」、「子どもが輝く幸せな子育て」出版社ほんの木

エッセー『子どもが輝く幸せな子育て』を出版しており、自信の育児や幼稚園での教員経験などのエピソードを交えながら、お話ししていただきます。

開 催 概 要

●日時　　**平成１８年６月３日（土）**

開場：１３時３０分、開演：１４時００分、終了：１５時３０分予定

●場所　　**八郎潟町青年婦人会館「ロマンの里」　大広間**

●参加費　　**無料**

●対象　　**どなたでも参加できます**

●主催　　**八郎潟青年者異業種交流会∞メビウス**

後援　　**八郎潟青年者異業種交流会∞メビウスＯＢ会**

申込み、お問い合わせ

●申込み方法　　**参加申込みは、裏面申込書によりＦＡＸ、郵送いずれも可。**
また、電話による申込みも承ります。

●申込期日　　**平成１８年５月３１日（水）まで**

●申込み
問い合わせ先　　**〒010-1606 八郎潟町字夜叉袋字中羽立 74-10　メビウス会長　菊地　文人**
TEL：０１８－８７５－３６１３　FAX：０１８－８７５－２４１４
〒010-1622 八郎潟町字一日市 331-1　　メビウス事務局長　土橋　吉秀
TEL：０１８－８７５－３３４６　FAX：０１８－８７５－３３４６

せいかつ　共に生きる

秋田市の主婦・若松さん

育児での悩みありのまま表現

「子どもが輝く―」出版

「母親を応援したい」

秋田市桜ガ丘で子育てサロンを開いている主婦・若松亜紀さんも、「子どもが輝く幸せな子育て」（ほんの木）を刊行した。子育て中のお母さんへのアドバイスや、二児を育てる中で感じた悩みなどをつづった等身大の育児本。若松さんは「子育てで苦労し、孤独を感じている人に、その悩みが自分だけのものではないと知ってほしい」と話している。

若松さんは元幼稚園教諭。平成十三年に幼稚園での経験や子育ての日々をまとめた「心で感じる幸せな子育て」を刊行。「子どもが輝く―」は二冊目の著作となる。

「最も重要な親の役割は、常に子どもの味方であること」と若松さん。本書では、子どもをしかったり、褒めたりするときのこつや、「自分を大好きな子どもに育てよう」といった子育ての理念、幼稚園選びのポイントや園生活へのQ&Aなどを紹介。長女の華凜ちゃん(十つ)、長男の飛龍ちゃん(五つ)の二人を育てる中でのエピソードを交え、時にはユーモアを添えながら、語り掛けるような文章で解説している。

育児での悩みを、ありのままにつづった部分もある。飛龍ちゃんを妊娠してから、一人で子育てを抱え込んでしまい、気持ちが追い詰められてしまった時期があった。そのときの苦しい心情や、子育ての先輩から受けたアドバイス、夫の秀樹さん(三四)の協力を仰ぎ、二人三脚の育児を続けることで「育児危機」を乗り越えた経緯などを告白している。

「長女が子育ての邪魔をしている、とさえ思った。知識としてそういう状態になることもあるとは分かっていたが、自分がそうなるとは思わなかった。同じように悩んで、子どもにつらくあたってしまうお母さんはいるはず。そんなお母さんを応援したい」

若松さんが昨年六月、「陽だまりサロン」を開設したのも、一人で子育てをするのではなく、母親たちが悩みを分かち合う場が必要と考えたからだ。本書では、自宅の一階にサロンを開くまでの経緯や、集う人たちとの交流も紹介している。若松さんは「子育てに悩んだら、一人で抱え込まないで。誰かが必ず助けてくれるから」と呼び掛ける。

「子どもが輝く―」は(B6判、二百八ページ、一五七五円。著者名は旧姓の藤村亜紀。県内の書店で販売している。問い合わせはほんの木☎03・3291・3011

冬期間休業していたサロンは十一日から再開。毎週木、金曜日の午前十時から午後二時まで開く。サロンは秋田市桜ガ丘五丁目八ノ八、☎080・5223・6688。ホームページはhttp://yaplog.jp/hi-damari

「子育てで悩むお母さんだけでなく、その家族にも読んでほしい」と語る若松さん＝秋田市の陽だまりサロン

秋田魁新報　５月１０日朝刊

朝日新聞　４月２６日朝刊

子育て経験まとめ本に

エピソード交え紹介

秋田の主婦・若松さん

自宅を開放して子育てサロンを運営する、秋田市桜ガ丘5丁目の主婦若松亜紀さん(37)＝写真＝が、エッセー『子どもが輝く幸せな子育て』を出版した。自身の育児や幼稚園での教員経験をエピソードを交えながら、つづっている。

西木村（現・仙北市西木町）出身。秋田大卒業後、秋田市内の幼稚園で7年間勤務した。公務員の夫(34)と長女(7)、長男(5)の4人で暮らす。

「陽だまりサロン」を開いたのは、退職後の05年6月。週2回、平均5～6組の親子が弁当持参で集まり、母親たちの情報交換の場となっている。気軽に立ち寄れる場所を目指す。

著書は2冊目。信頼できる幼稚園の見極め方は「先生の態度に落ち着いた環境」のほか、子どもの想像力を培う「シンプルで素朴な園」を挙げる。

「友達とうまくやっていけるのか心配」「園であったことを話さない」など幼稚園での不安は、Q&A方式でまとめた。

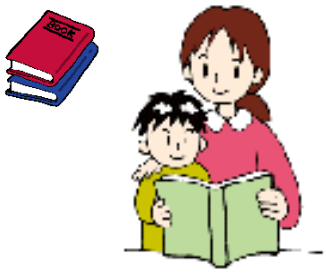
・子育て論もユーモアたっぷりに紹介。母親が夢を持ち、それを口に出すことが大切だと説く。本出版までの経緯を引き合いに「夢はかなうと信じて行動に移せば、協力者や情報が集まってくる」。子どもをしかる基準は人に迷惑をかけたときや危険なときで、その方法は「後ろ側から抱き寄せる」。心がほどけ、母親の言葉に耳を傾けてくれるという。

若松家の教育方針は知識より体験。子どもの遊びやキャンプの体験を通し、子どもの興味を大切に親子で一緒に体験する大切さを訴える。

サロン立ち上げまでの経緯や、活動の様子なども記されている。

「母親が感じる育児の悩みを盛り込んだ。子育ての参考にしてほしい」と若松さん。

四六判、208ページ。定価1500円（税別）。著者名は、旧姓の藤村亜紀。問い合わせは、出版社「ほんの木」（03・3291・3011）へ。



八郎潟青年者異業種交流会∞メビウス

会長　菊地あて（ＦＡＸ　０１８－８７５－２４１４）、**事務局長　土橋あて**（ＦＡＸ　０１８－８７５－３３４６）

（上記あてどちらでもかまいませんが、**５月３１日（水）**までに上紙を付けないで送信して下さい）

「子どもが輝く幸せな子育て」講演会　受講申込書

申込み代表者

ご氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＮＯ	受　講　者　名	備　　考
1		
2		
3		

※人数が多い場合は、任意の用紙又はこの用紙をコピーしてお使い下さい。